

# メインメニュー

\*\* 自動分析装置 TBA-30FR \*\*

## 1 ルーチン

- 11 スタートアップ
- 12 試薬残量モニタ
- 13 キャリブレーション
- 14 コントロール
- 15 サンプル
- 16 測定条件
- 17 測定モニタ
- 18 結果確認・データ編集
- 19 洗浄

①コントロール検体を測定するかどうかの設定を行うメニュー。  
(14→enter)

②コントロール検体の測定についてスタート条件を設定するメニュー。  
(16→enter)

## 2 精度管理

- 21 日内 QC チャート
- 22 日内 QC リスト
- 23 月間 QC チャート
- 24 月間 QC リスト

③使用するコントロール検体のポジション・他の設定を行うメニュー。  
(22→enter)

## 3 保守

## 4 オプション

④CLIENTで通信設定を行うためのオンライン設定条件をみるためのメニュー。  
(f3を押し、「システムパラメータ」→「オンラインパラメータ」と進む)

1 ルーチン

2 精度管理

3 保守

4 オプション

( )

# 測定条件

## 測定条件

メニュー	[1]	(1,2)
測定開始ディスク#	[ 1]	(1~10)
位置#	[ 1]	(1~40)
項目マスク	[NO]	(1:YES, 0:NO PF8:マスク設定)
コントロールの測定間隔	[40]	(0~41)
コントロールの測定回数	[ 1]	(0~30)
オンライン出力モード	[即時]	(1:即時, 0:一括)

コントロール検体の測定条件を決定するメニュー。  
 コントロール検体のみを測定する場合は左記のように設定する(シングル測定の場合)。  
 (必ずコントロール設定画面で測定の設定を行っておく)

### 項目マスク:

1 * GOT	11 * T-BIL	21	31	41
2 * GPT	12 * D-BIL	22	32	42
3 * CPK	13	23	33	43
4 * AMY	14	24	34	44
5 * BUN	15	25	35	45
6 * CRE	16	26	36	46 S-ISE
7 * GLU	17	27	37	49 A-ISE
8 * TP	18	28	38	
9 * ALB	19	29	39	
10 * CRP	20	30	40	

1 終了

2 画面コピー

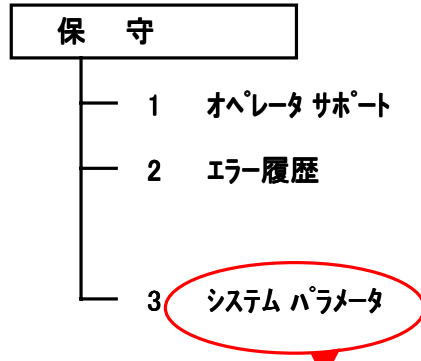
3 前業務

4 次業務

7 CNTL クリア

8 マスク設定

# 保守メニュー



CLIENTで通信設定を行うためのオンライン設定条件をみるため、このメニューからオンラインパラメータへ進んでいく。  
(f3を押す)

1 オペレータ

2 エラー履歴

3 システム

( )  
8 終了

## システムパラメータ

### システムパラメータ

(PF7) : オンライン構成

(PF8) : 電極

システムサイクル [ 18]秒 (18.0 ~ 30.0)

検体容器種別 [サンプルカップ] (0 : サンプルカップ 1 : 採血管)

分注量の補正  $Y = AX + B$

サンプル	A [100]%	B [ 0.0] $\mu$ l	(A : 80~120	B : 0.0~1.0)
試薬	A [100]%	B [ 0] $\mu$ l	(A : 80~120	B : 0~10)

タミ-量

サンプル	A [ 20]%	B [ 4.0] $\mu$ l	(A : 0~20	B : 0.0~10.0)
試薬	A [ 8]%	B [ 6] $\mu$ l	(A : 0~20	B : 0~20)

CLIENTで通信設定を行うためのオンライン設定条件をみるためには、ファンクションキーの7番を選択する。

1 終了 2 画面コピー 3 フロッピー

7 オンライン 8 電極

# オンラインパラメータ

## オンライン パラメータ

識別番号	[ 1]	(1 ~ 999)		
測定データ伝送手順	[ACK/NAK]	(0 : ACK/NAK	1 : NONE ACK/NAK)	
オンライン条件				
伝送速度	[1200] BPS	(0 : 1200	1 : 2400)	
回線方式:	7A			
ビット長	[7] ビット	(7*	8)	
パリティ	[偶数]	(0 : 偶数	1 : 奇数	2 : なし)
ストップビット	[1] ビット	(1*	2)	
ETXコード	[03]	(0 : 0X03*	1 : 0X0D)	

\* : 標準

CLIENTで通信設定を行う際、この数値を入力する。  
(clientの「通信ポートのプロパティ」を参照)

CLIENT画面



1 終了

2 画面コピー

# コントロール設定

## コントロールの設定

コントロール血清で測定する項目にカーソルを移動し、ENTERにて反転させる。  
※:ルーチン検体のみ測定の場合は再度ENTERにて設定を解除する)

1 * GOT	11 * T-BIL	21	31	41
2 * GPT	12 * D-BIL	22	32	42
3 * CPK	13	23	33	43
4 * AMY	14	24	34	44
5 * BUN	15	25	35	45
6 * CRE	16	26	36	46 S-ISE
7 * GLU	17	27	37	49 A-ISE
8 * TP	18	28	38	
9 * ALB	19	29	39	
10 * CRP	20	30	40	

- 1 ALL      2 ALL+BIL      3 HD+CRP      4 HD      5      6      7      8
- 1 終了      2 画面コピー      3 前業務      4 次業務      8 マップ

# 日内QCリスト

## 日内QCリスト

	項目	N	MAX	MIN	レンジ	平均	S.D.	C.V.%	カップ#	上限	下限
1	GOT	30	0	0	0	0	0.0	0.00	[18]	[0]	[0]
2	GPT	30	0	0	0	0	0.0	0.00	[18]	[0]	[0]
3	CPK	30	0	0	0	0	0.0	0.00	[18]	[0]	[0]
4	AMY	30	測定したいコントロール 血清のディスクポジショ ンを指定する。(合計3ヶ 所まで)	0	0	0	0.0	0.00	[18]	[0]	[0]
5	BUN	30							[18]	[0]	[0]
6	CRE	30							[18]	[0]	[0]
7	GLU	30							[18]	[0]	[0]
8	TP	30							[18]	[0]	[0]
9	ALB	30							[18]	[0]	[0]
10	CRP	30							[18]	[0]	[0]
11	T-BIL	30	[18]	[0]	[0]						
12	D-BIL	30	[18]	[0]	[0]						
13		0	0	0	0	0	0.0	0.00	[0]	[0]	[0]
14		0	0	0	0	0	0.0	0.00	[0]	[0]	[0]
15		0	0	0	0	0	0.0	0.00	[0]	[0]	[0]
16		0	0	0	0	0	0.0	0.00	[0]	[0]	[0]
17		0	0	0	0	0	0.0	0.00	[0]	[0]	[0]
18		0	0	0	0	0	0.0	0.00	[0]	[0]	[0]
19		0	0	0	0	0	0.0	0.00	[0]	[0]	[0]
20		0	0	0	0	0	0.0	0.00	[0]	[0]	[0]

1 終了

2 プリント

3 月間リスト

4 次コントロール

5 削除

6 上限下限

7 保存

8 次頁

# 項目メニュー

## 検査項目メニュー：メニュー# 1

*項目#	1	[ GOT ]	11	[ T-BIL ]	21	[ ]	31	[ ]
	2	[ GPT ]	12	[ D-BIL ]	22	[ ]	32	[ ]
	3	[ CPK ]	13	[ ]	23	[ ]	33	[ ]
	4	[ AMY ]	14	[ ]	24	[ ]	34	[ ]
	5	[ BUN ]	15	[ ]	25	[ ]		
	6	[ CRE ]	16	[ ]	26	[ ]		
	7	[ GLU ]	17	[ ]	27	[ ]		
	8	[ TP ]	18	[ ]	28	[ ]		
	9	[ ALB ]	19	[ ]	29	[ ]		
	10	[ CRP ]	20	[ ]	30	[ ]		

*項目ID	1	* GOT	11	* T-BIL	21		31	41
	2	* GPT	12	* D-BIL	22		32	42
	3	* CPK	13		23		33	43
	4	* AMY	14		24		34	44
	5	* BUN	15		25			45
	6	* CRE	16		26			46 S-ISE
	7	* GLU	17		27			49 A-ISE
	8	* TP	18		28			
	9	* ALB	19		29			
	10	* CRP	20		30			

CLIENTのチャンネル番号設定時は、webで登録した項目とこちらの「項目ID」の数字を一致させる。

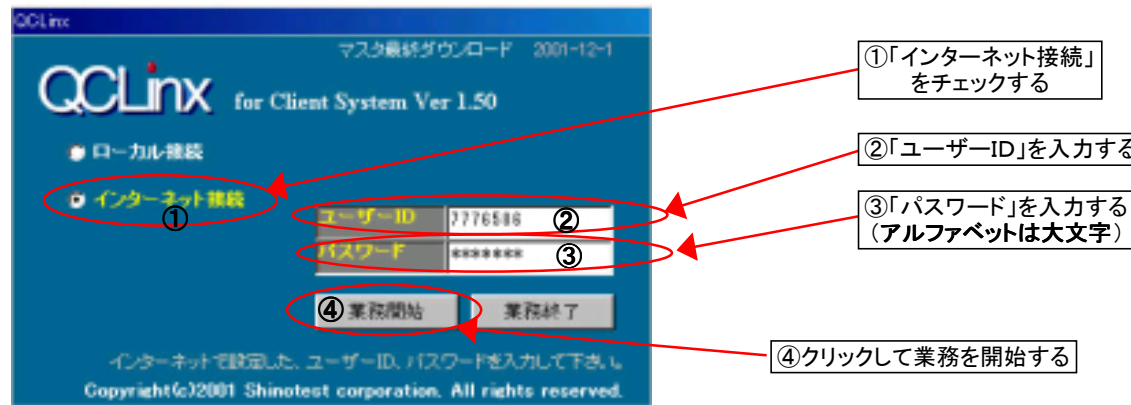
CLIENT画面



- 1 終了
- 2 画面コピー
- 3 前業務
- 4 次業務
- 5 フロッキー
- 7 メニュー# 1
- 8 メニュー# 2

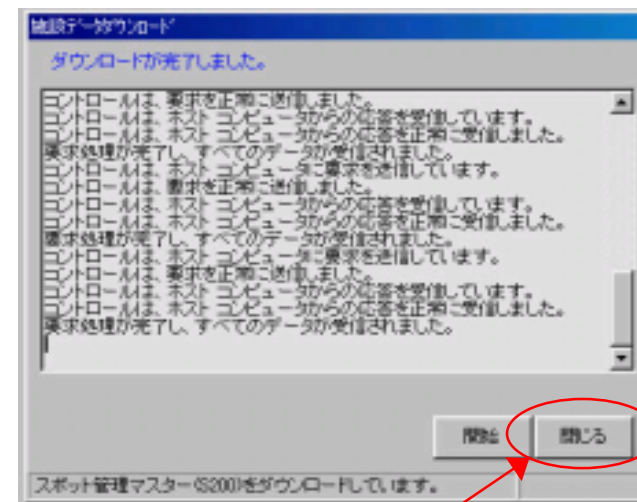
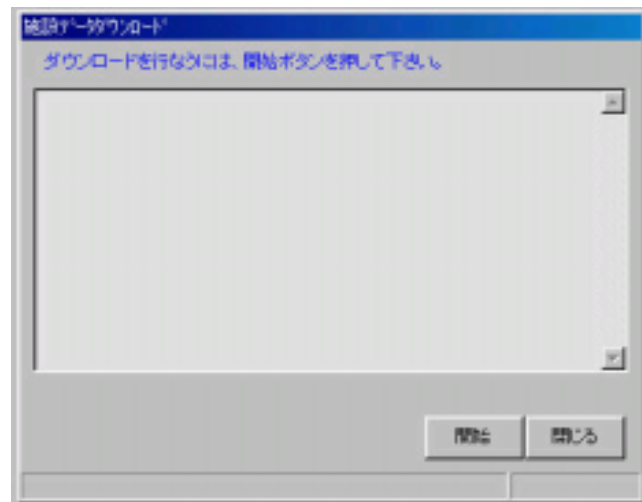
# QCLinx Client 取扱説明(RS232cリアルタイム取り込み時)

## I. メイン画面(QCLinx Clientのアイコンをダブルクリック)



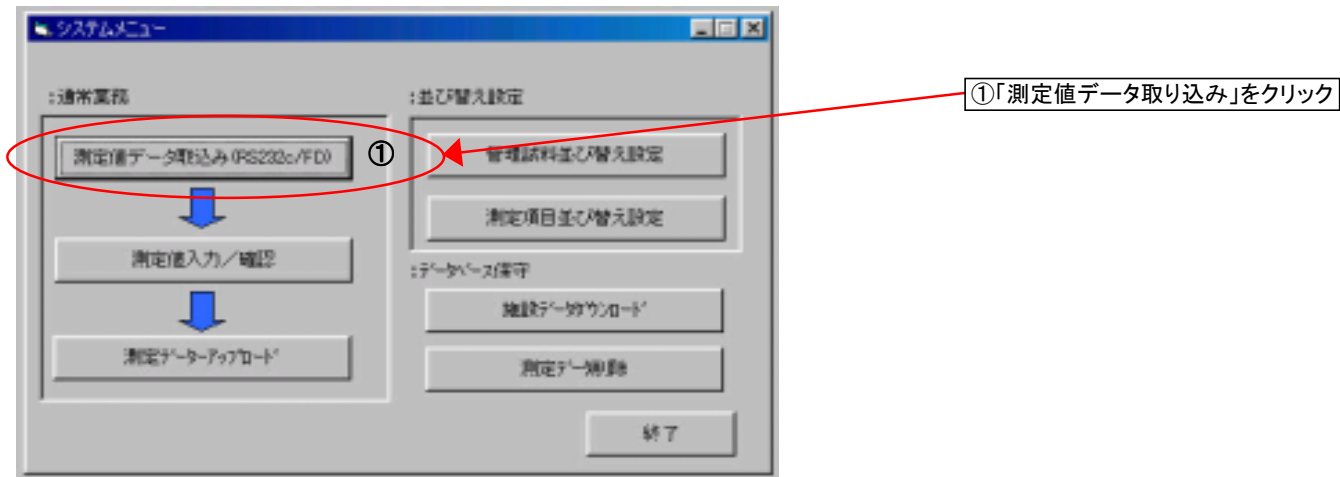
## II. 自動でweb登録データがダウンロードされる

:上記Iにて「インターネット接続」を指定した場合。

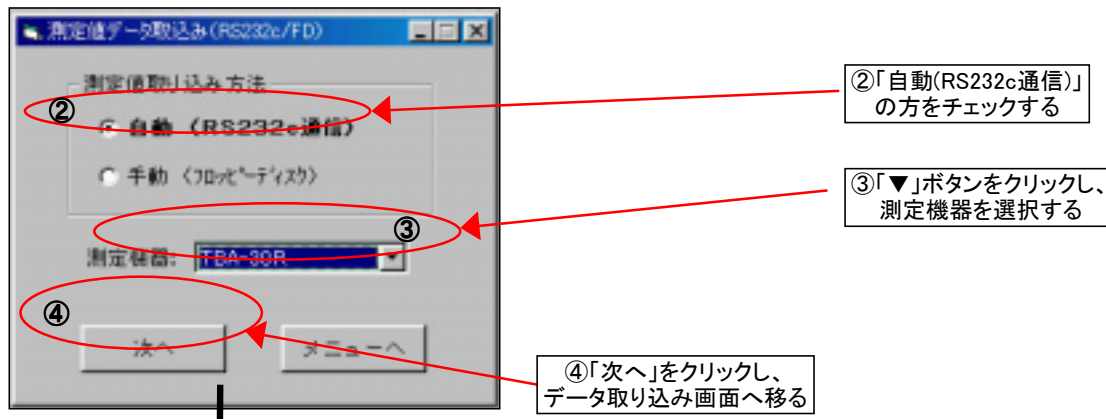


上記の画面でデータのスクロールが完全に終わったら「閉じる」をクリック

## III. システムメニュー画面



①「測定値データ取り込み」をクリック



②「自動(RS232c通信)」の方をチェックする

③「▼」ボタンをクリックし、測定機器を選択する

④「次へ」をクリックし、データ取り込み画面へ移る



#### IV. 測定値データ取り込み(RS232c通信)画面

：自動分析装置からのケーブル関係の接続がきちんと行われているかチェックする。

①「通信設定(P)」→「プロパティ」をクリックする

CLIENT取込み操作

## A. 通信状況の設定

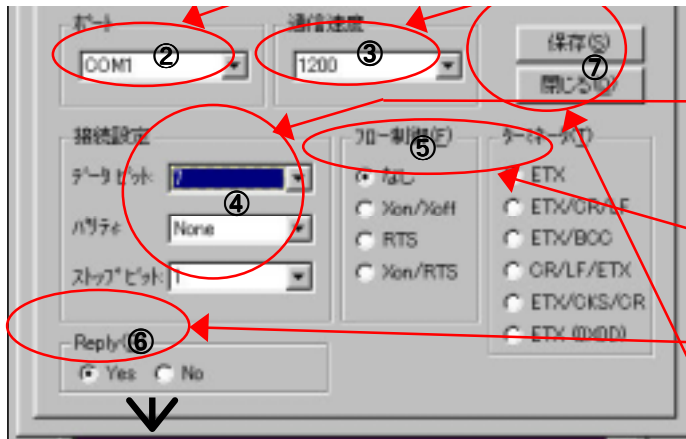
①「通信設定(P)」→「プロパティ」をクリックする



②PCの通信ポートを設定する  
(通常のノートPCの場合「COM1」)

③分析装置の「システムパラメータ」→「オンラインパラメータ」の  
「伝送速度」の数字を入力する





④分析装置の「システムパラメータ」→「オンラインパラメータ」の「ビット長」の数字を「データビット」に、「パリティ」の数字を「パリティ」に、「ストップビット」の数字を「ストップビット」に、それぞれ入力する

⑤通常「なし」、「ETX」を選択する  
(分析装置の「システムパラメータ」→「オンラインパラメータ」で、「ETXコード」が「03」の場合)

⑥通常「Yes」を選択する

⑦「保存」をクリック、「閉じる」をクリックし終了する

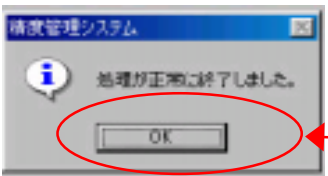


⑧▲▼ボタンをクリックし、「測定日」を選択する

⑨「起動/再開」をクリックし、インジケータが緑色になるのを確認

⑩分析装置の「測定条件」の内容をチェックし、自動分析装置を「START」させる

⑪自動分析装置からデータが送信されるとこの部分にメッセージが流れる



このメッセージが表示されると、データ取り込みが無事終了したので、「OK」をクリックして終了する

リックして終了する

「システムメニュー」画面に戻る

### V. 測定値入力/確認画面

:上記Ⅲ. システムメニュー画面の、「測定値入力/確認」をクリックして選択する。

① ▲▼ボタンをクリックし、「測定日」を選択する

② 「▼」ボタンをクリックし、測定機器を選択する

③ 「▼」ボタンをクリックし、何回目の測定を確認するのかを選択する

④ 「検索」ボタンをクリックする

⑤ それぞれのコントロール毎に、各項目のデータを確認する  
(このスペースから手入力や手直しも可能)

⑥ 上記の手入力や手直しなどがあった場合、「更新」をクリックする

⑦ データの確認、更新が終了したら、「終了」をクリックする

項目\試料	Asito-IN	Asito-DSP Ⅱ J	Asito Control IM
T-BIL			
GLU			
Ca			
BUN			
UA			
CRE			
Fe			
AST			
ALT			
LD			
ALP			
γ-GT			
AMY			
CK			

「システムメニュー」画面に戻る

### VI. 測定データアップロード画面

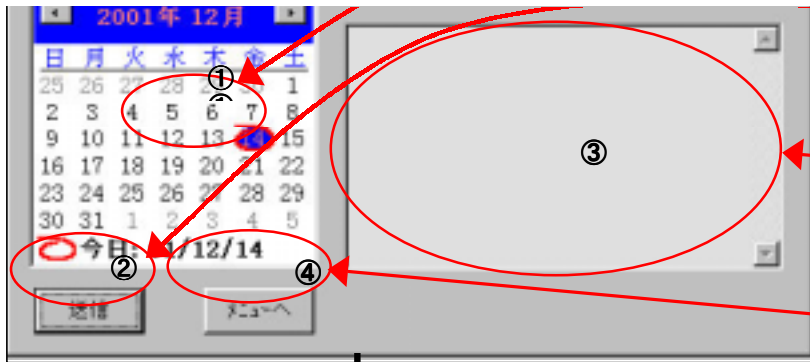
:上記Ⅲ. システムメニュー画面の、「測定データアップロード」をクリックして選択する。

① データ送信をする日を選択する。  
(データ送信された日は太字で表示される)

② 上記の日付を確認後、

2001/12/14 分の測定データをサーバへアップロードします。

2001年 12月



②上記の日付を確認後、「送信」をクリックする

③ダイヤルアップ(自動or手動)され、データが送信され、このスペースに通信ログが表示される。  
無事送信された場合は、終了された旨のメッセージが表示される。

④上記の終了のメッセージを閉じたあと、「メニューへ」をクリックし、この画面を終了する。

「システムメニュー」画面に戻る

**終了** をクリックして「システムメニュー」を終了する

**業務終了** をクリックして「メインメニュー」を終了する